

10
もーち

聖徒伝 36

「神の栄光は 今どこに」

出35～40章
幕屋の完成・栄光の顕現

パンテコステ
2020

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 幕屋建設 35～39章

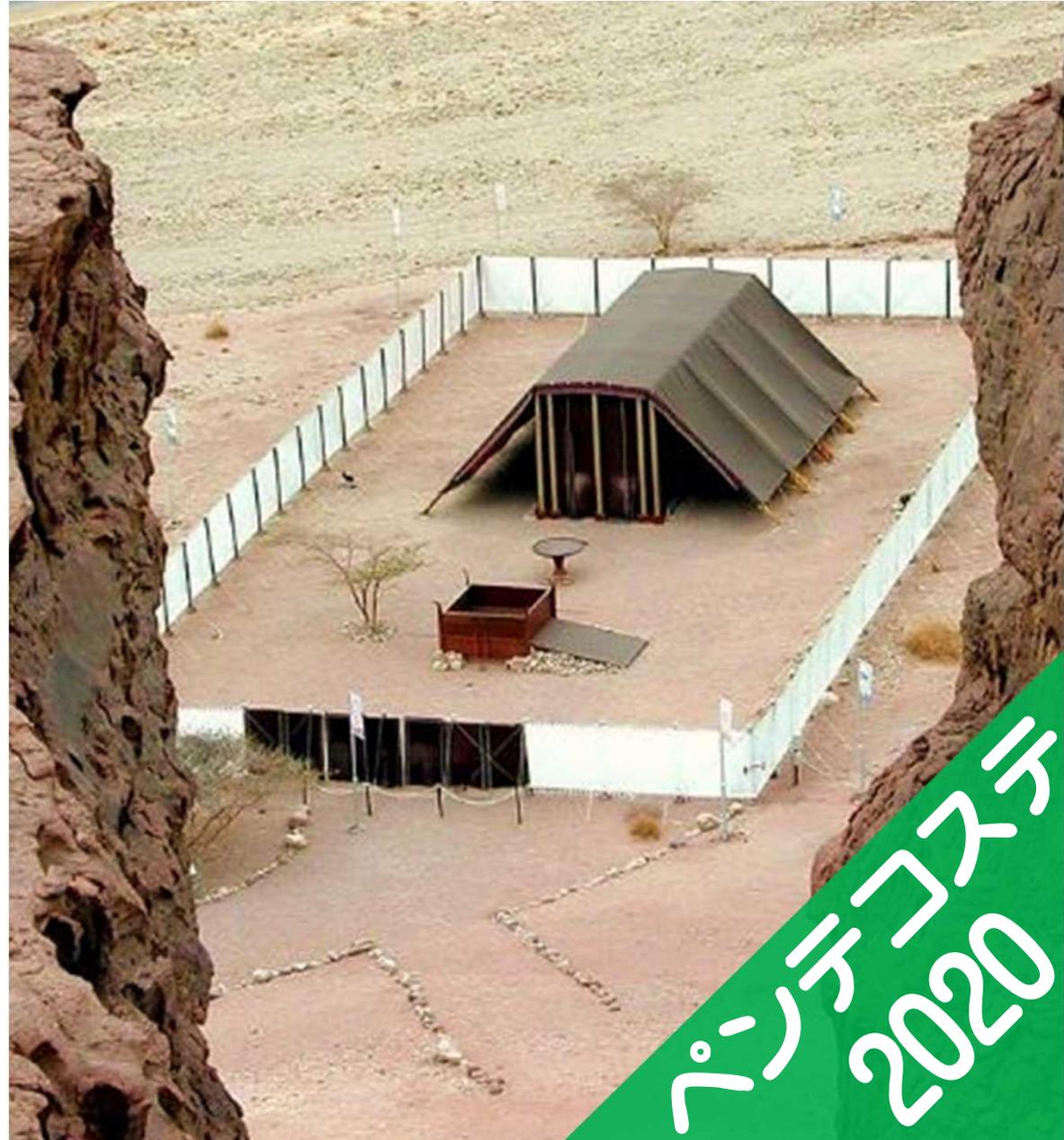
II. 幕屋の完成 40章

地に住まわれた神の栄光

III. まとめと適用

人に宿られた神の栄光

神の宮とされた私たち



パンテコステ
2020

【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

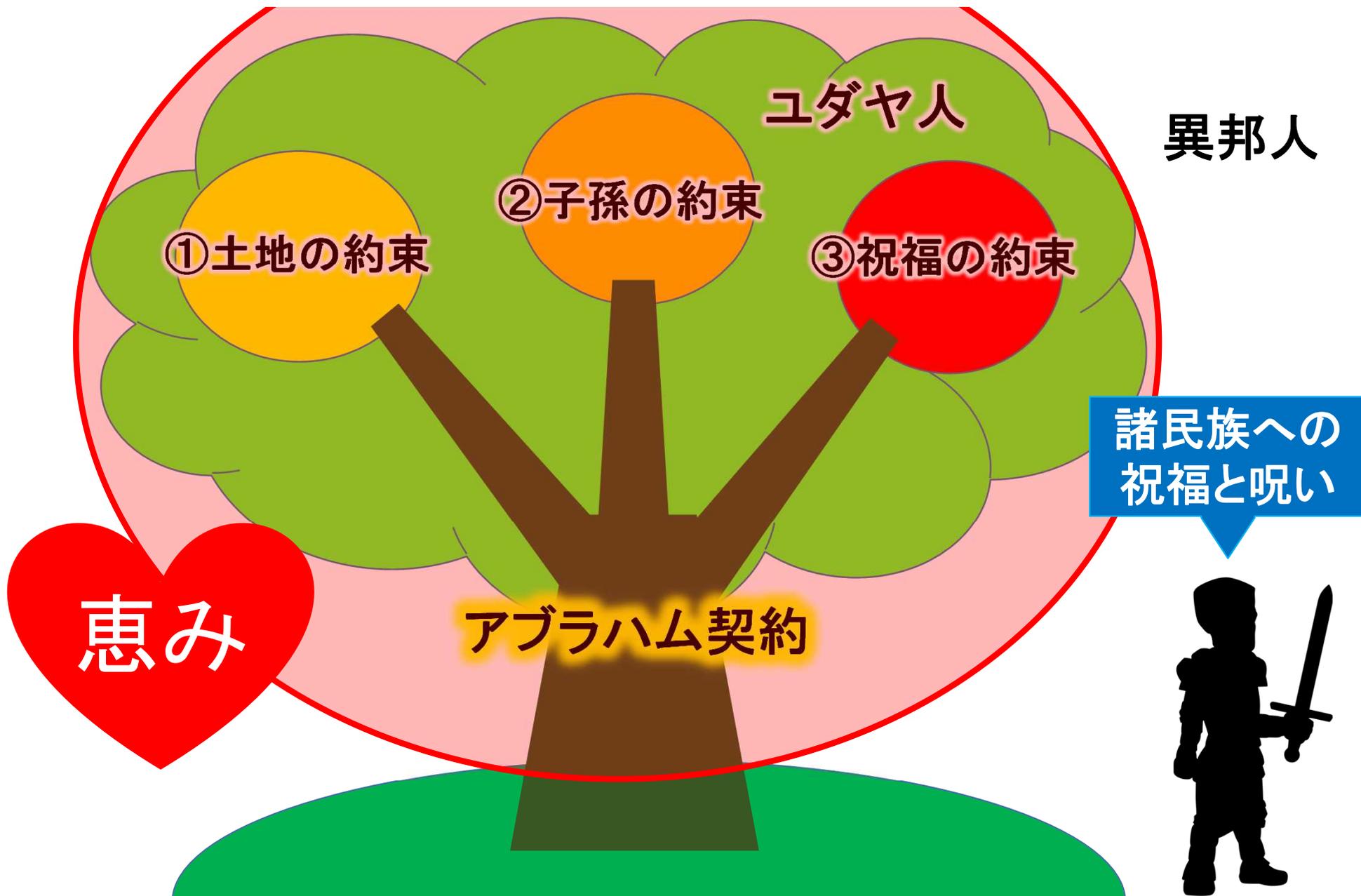
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

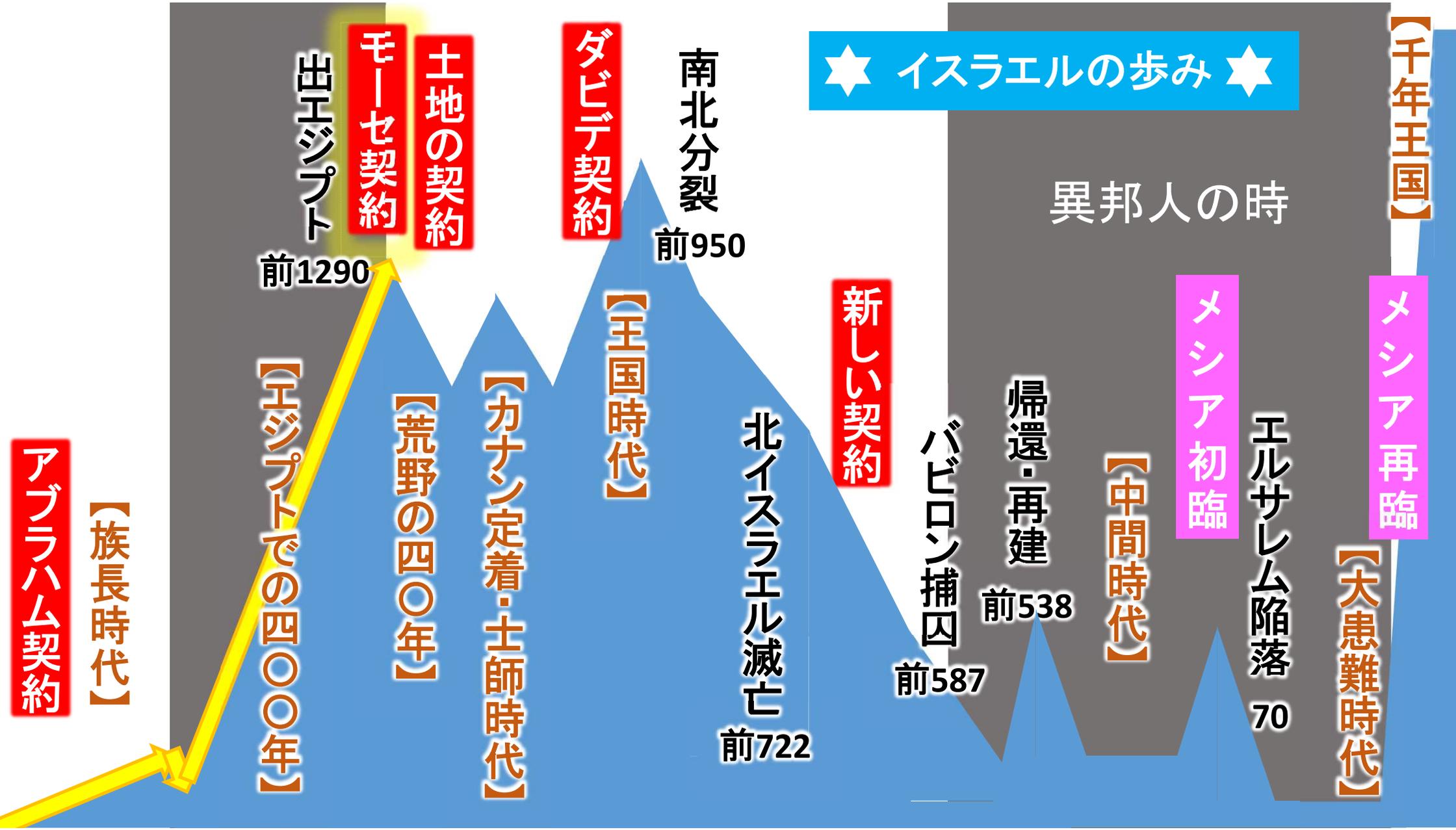
アブラハム契約が、
イスラエルを守り、導いた!!



【アブラハム契約】



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

エジプトでの四〇〇年

前1290

出エジプト

モーセ契約

土地の契約

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

前950

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

0～40歳

40～80歳

80～120歳

奴隸の子として誕生

王の子として成長

逃亡者に
40才

ミディアン人の娘チツポラと結婚

荒野での羊飼生活

召命 80才

十の災い

出エジプト

シナイ契約

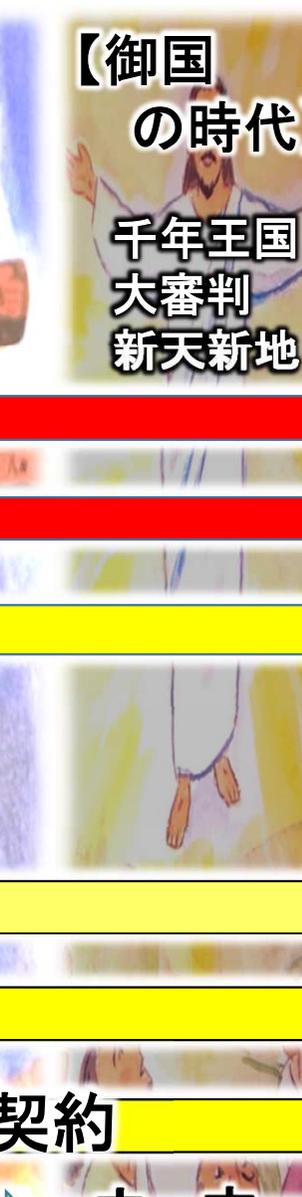
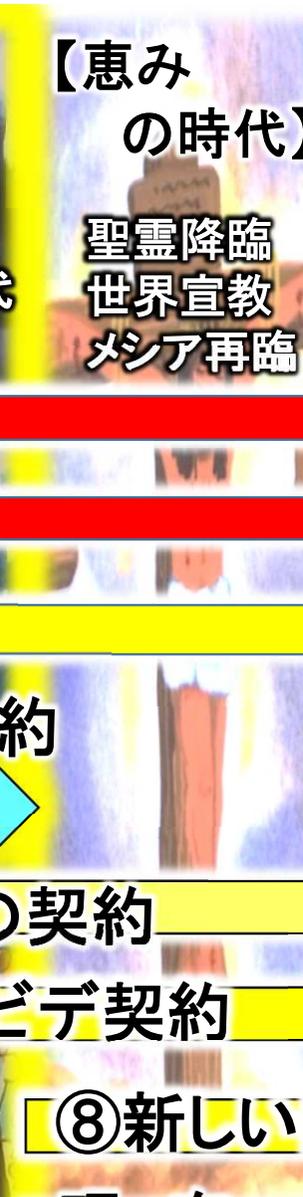
民の反抗

荒野の四〇年

土地の契約

召天

【モーセの生涯】



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

【モーセの律法 十戒とは？】

★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項
(出20:1～申28:68)

★モーセの律法の七つの特徴

- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。



律法は、イスラエルを導く、飴と鞭

罪を思い知らせ、救い主へ導く

I. 幕屋建設

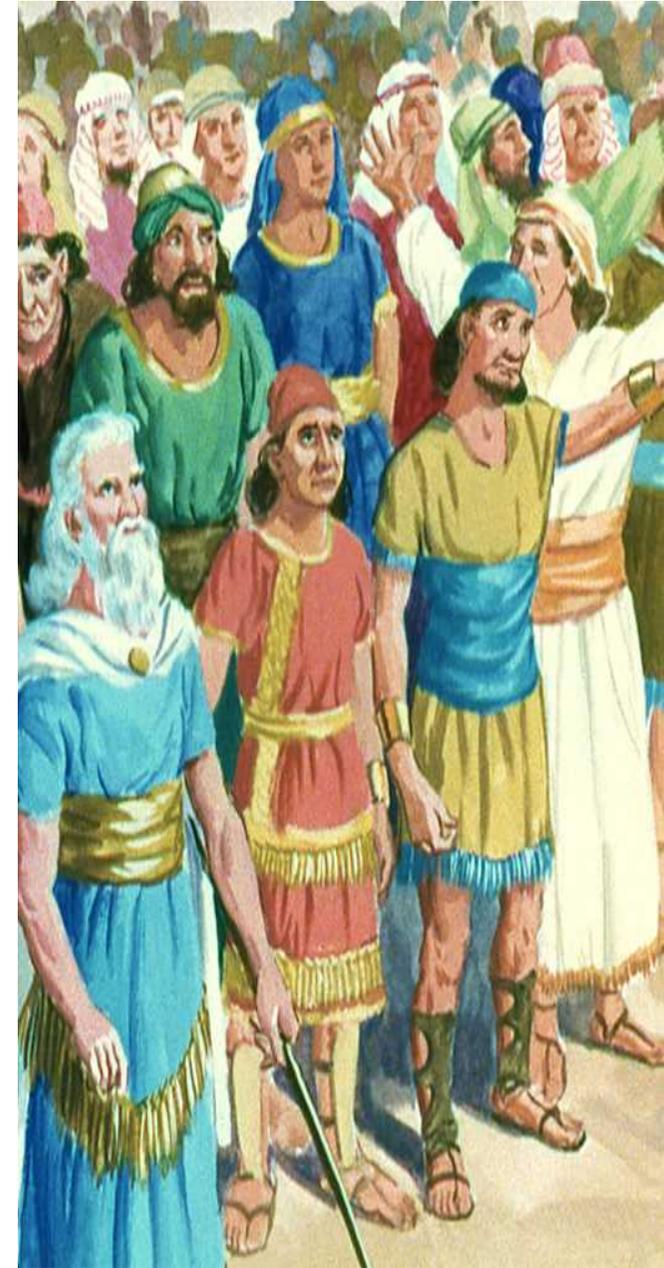
出エジプト記35～39章



【安息の命令】 出35:1～3

モーセはイスラエル人の全会衆を集めて彼らに言った。「これは、【主】が行えと命じられたことばである。六日間は仕事をしてよい。しかし、七日目には、【主】の聖なる全き休みの安息を守らなければならない。この日に仕事をする者は、だれでも殺されなければならない。安息の日には、あなたがたのどの住まいのどこでも、火をたいてはならない。」

- 幕屋建設開始にあたり、再度命じられた安息。
- 聖書の神は、「安息せよ」と命じられる神である。
➡ 逆に、「休むな」と、ひたすら搾取するのがカルト。



【幕屋の材】 出35:4～9

モーセはイスラエル人の全会衆に告げて言った。
「これは、【主】が命じて仰せられたことである。
あなたがたの中から【主】への奉納物を受け取り
なさい。すべて、心から進んでささげる者に、
【主】への奉納物を持って来させなさい。

- 繰り返し強調される、主の命令。
- 心から喜んで献げる、→今も変わらない原則。
主は、私たちの心を見られる。
- 15種類の品物が、奉献物として列挙。



【幕屋の人材】 出35:10

あなたがたのうちの心に知恵のある者*は、みな来て、【主】が命じられたものをすべて造らなければならない。

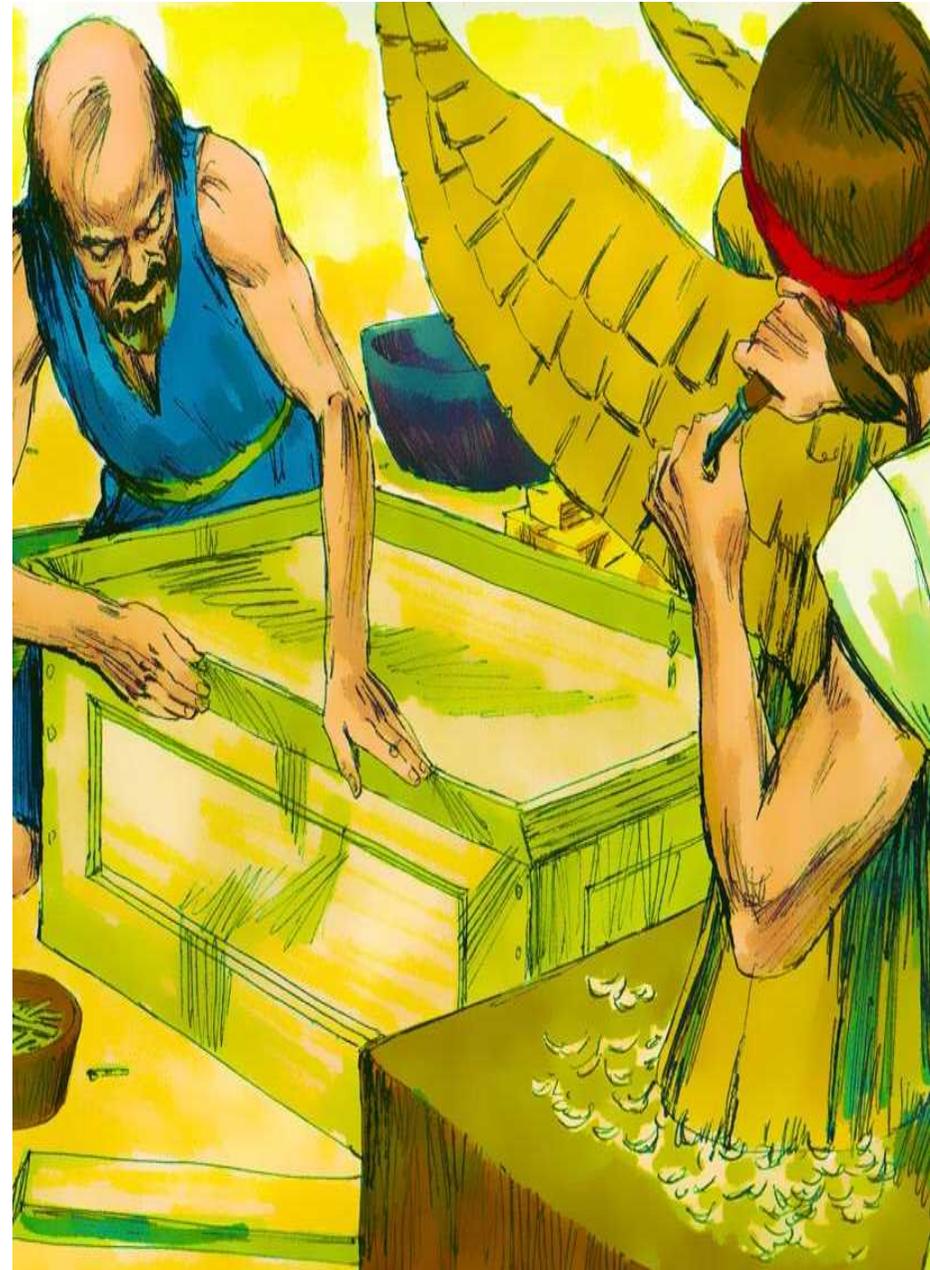
* 神から与えられた知恵。

➡ 神の霊(聖霊)が満たされた者。

責任者2名は、31章で選出済み。

■ ベツアルエル、オホリアブの下、
職人、芸術家たちが集められた。

■ 24種類の品が列挙。



【心からの捧げ物と奉仕】 出35:20～29

感動した者と、心から進んでする者とはみな、会見の天幕の仕事のため、また、そのすべての作業のため、また、聖なる装束のために、【主】への奉納物を持って来た。

35:22 すべて心から進んでささげる男女は、飾り輪、耳輪、指輪、首飾り、すべての金の飾り物を持って来た。

35:25 また、心に知恵のある女もみな、自分の手で紡ぎ、その紡いだ青色、紫色、緋色の撚り糸、それに亜麻布を持って来た。

35:29 イスラエル人は、男も女もみな、【主】がモーセを通して、こうせよと命じられたすべての仕事のために、心から進んでささげたのであって、彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た。

イスラエルは、罪ゆるされた喜びをもって、ささげ、奉仕した



【聖霊に満たされた奉仕】 出35:30～35

モーセはイスラエル人に言った。「見よ。【主】はユダ部族のフルの子であるウリの子ベツアルエルを名ざして召し出し、

彼に、知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満たされた。それは彼が金や銀や青銅の細工を巧みに設計し、はめ込みの宝石を彫刻し、木を彫刻し、あらゆる設計的な仕事をさせるためである。

また、彼の心に人を教える力を授けられた。彼とダン部族のアヒサマクの子オホリアブとに、そうされた。

主は彼らをすぐれた知恵で満たされた。

■ 聖霊の賜物は、奉仕のための賜物。

捧げる心のある者に、聖霊は降り、用いられる。



【あふれるばかりの捧げ物】 出 36:1～7

36:4 そこで、聖所のすべての仕事をしてきた、知恵のある者はみな、それぞれ自分たちがしていた仕事から離れてやって来て、モーセに告げて言った。「民は幾たびも、持って来ています。【主】がせよと命じられた仕事のために、あり余る奉仕です。」

36:6 それでモーセは命じて、宿営中にふれさせて言った。「男も女も、もはや聖所の奉納物のための仕事をしないように。」こうして、民は持って来ることをやめた。

- これ以上、捧げないようにと命令したモーセ。
これほどの捧げ物は、後にも先にもない!!



【幕屋とは？】

■ 神はイスラエルに幕屋の建設を命じた。

■ 幕屋は、移動式のテントの神殿。

神が臨在されるところ。

■ 出エジプト記の半分 ➡ 律法の記述。

3分の1以上 ➡ 幕屋の記述。

■ 出エジプト記で最も重要なのは、幕屋。

幕屋に、シャカイナグローリーが宿る。

「出25:8 彼らがわたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの中に住む。」



【幕屋の構造】 出36章8～38節

■ 幕

④じゅごんの皮

③雄羊の皮(赤になめす)

②ヤギの織物

①亜麻布の織物

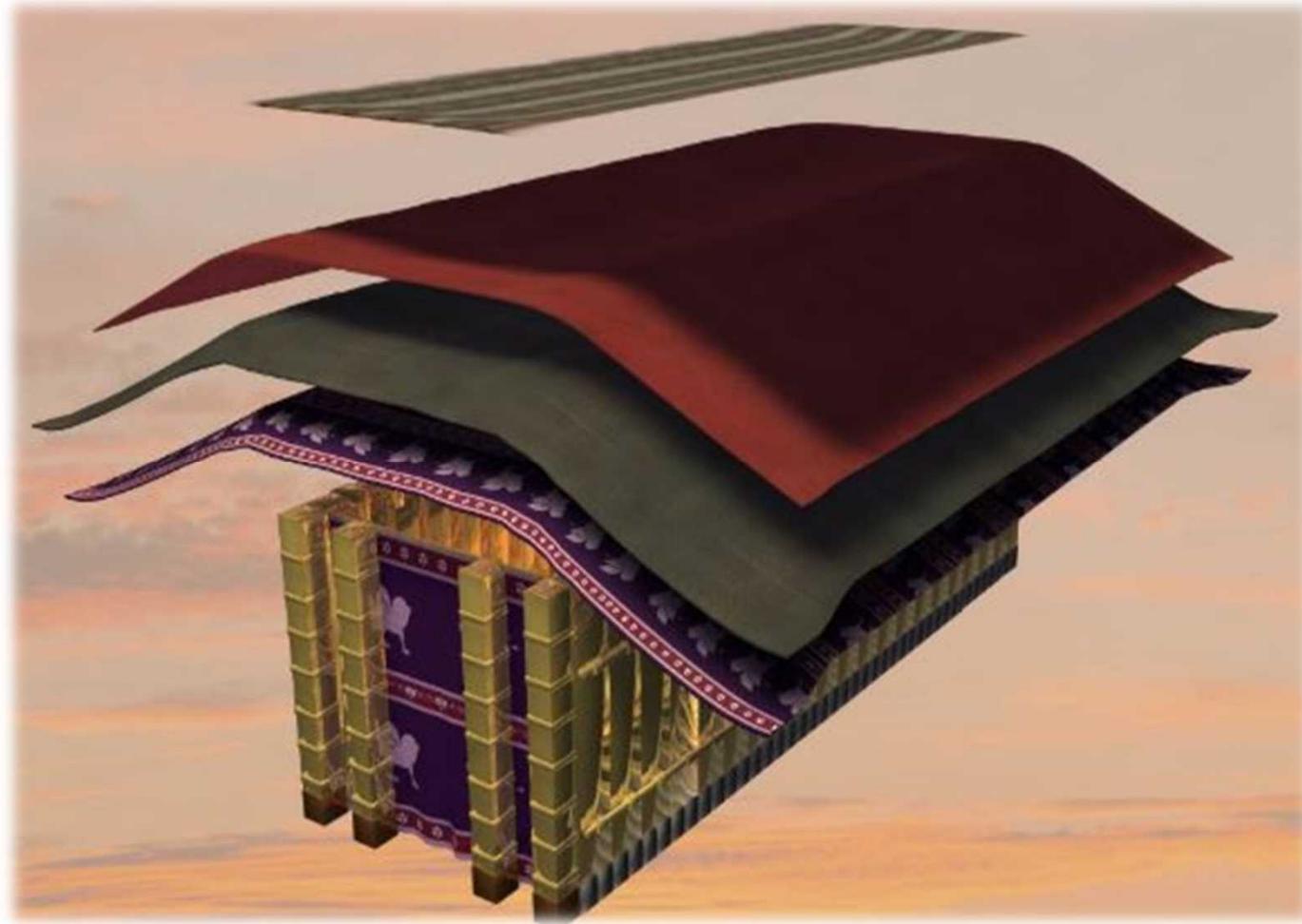
(ケルビム*の刺繍入)

* 最上位の天使

■ 骨組みとなる縦横の板

...金で覆われた

■ 青銅製の土台



【幕屋内部】 出37章

縦13,3m

× 横4,4m

× 高さ4,4m

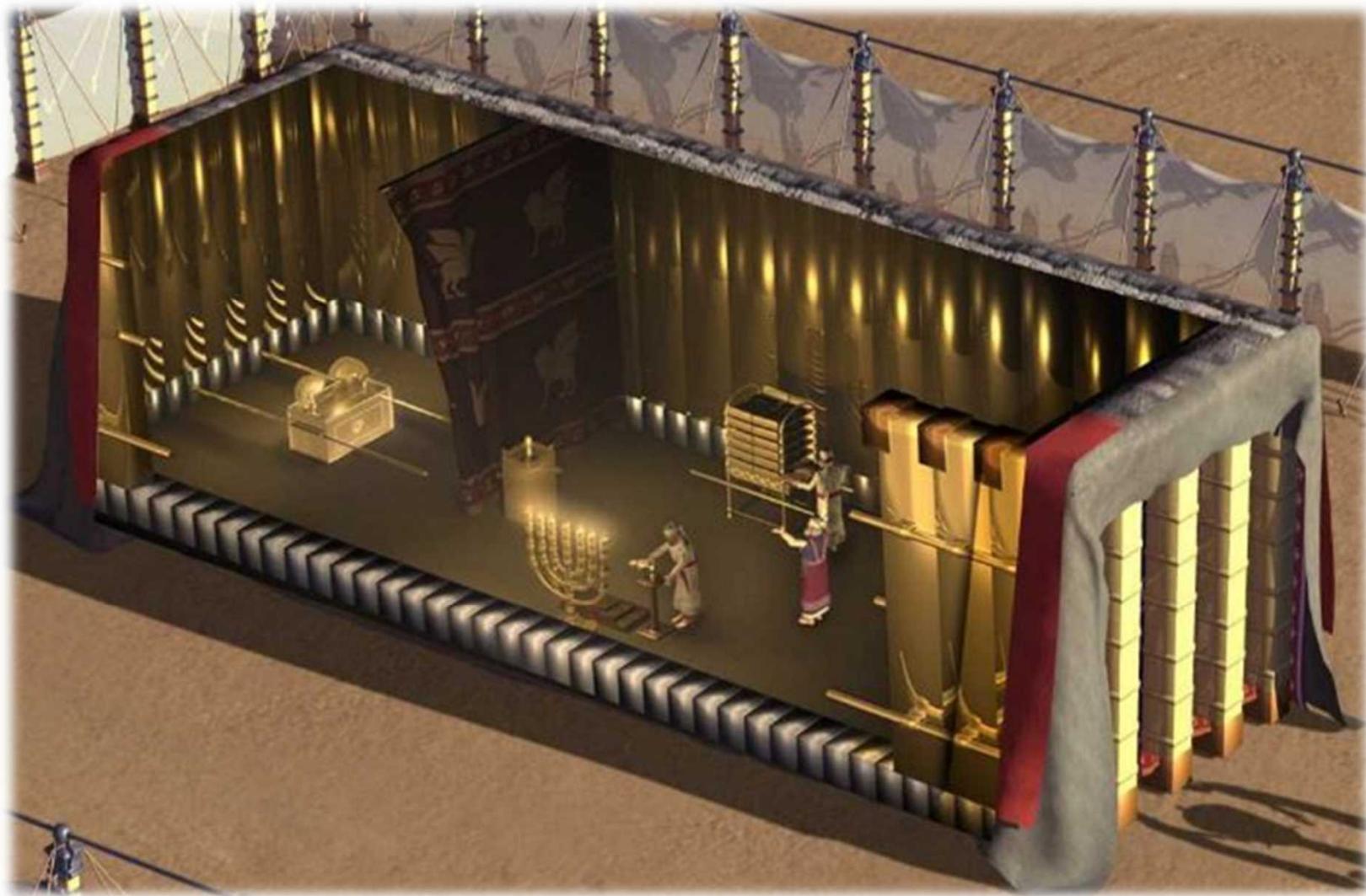
17,5坪 36畳

※聖所 24畳

※至聖所 12畳

(縦横高さ

4.4mの**立方体**)

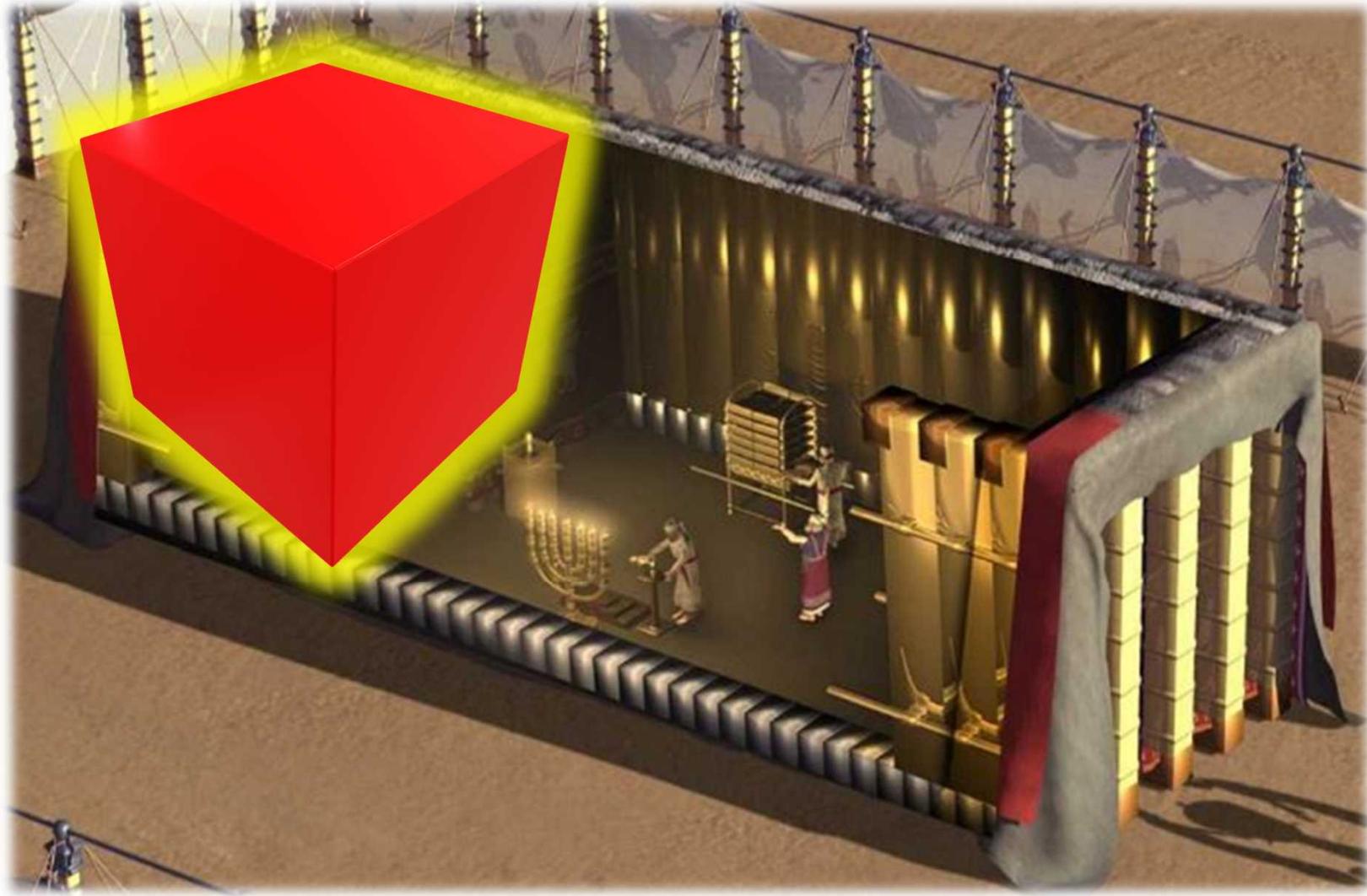


【幕屋内部】 出37章

至聖所は、
天の都エルサレム
の型。

月ほどの大きさの
巨大な立方体。

神の計画の
完成となる、
新天新地の時代、
天のエルサレムは
地上に降り立つ。
(黙示録21～22章)



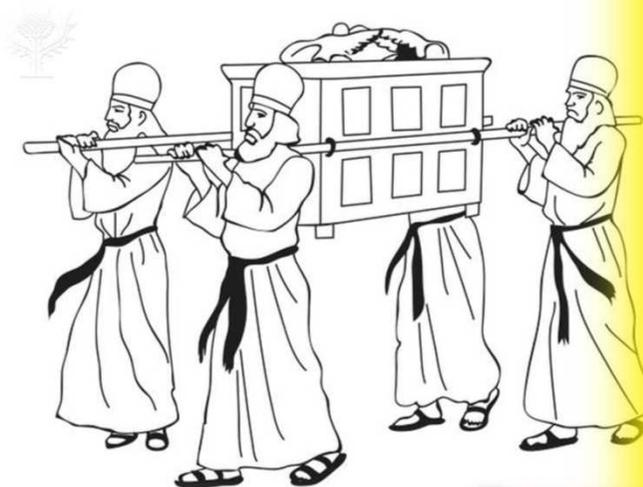
【契約の箱】 出37:1～16

■ 縦113cm × 横68cm × 高さ45cm
アカシア材＋純金で覆う

■ 最も重要な祭具。

■ 幕屋の奥、至聖所に安置され、
贖いの蓋のケルビム(天使像)の間に
神の栄光(シャカイナグローリー)が宿った。

■ 中身は、①十戒の石版2枚
②アロンの杖
③マナの壺



【供卓】 出37:10～16



「わたしは、いのちのパンです。ヨハ6:48」

【燭台(メノラー)】 出37:17～24



「わたしは世の光です」

ヨハ8:12

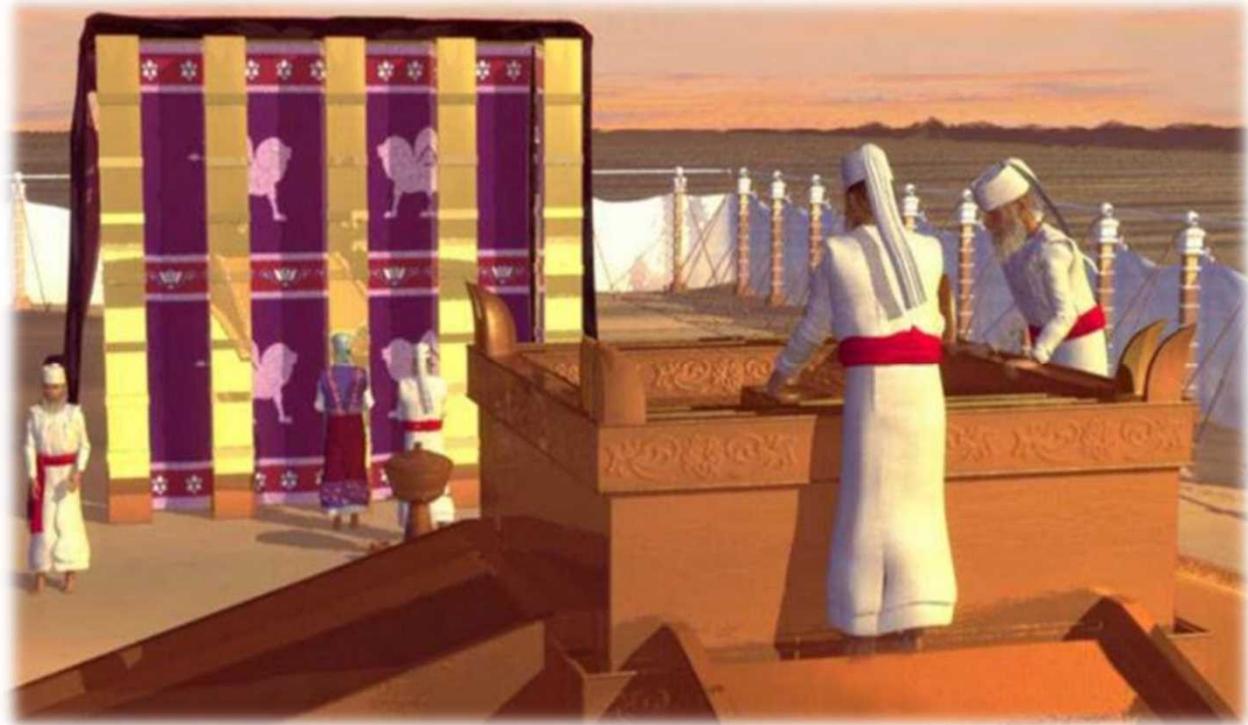
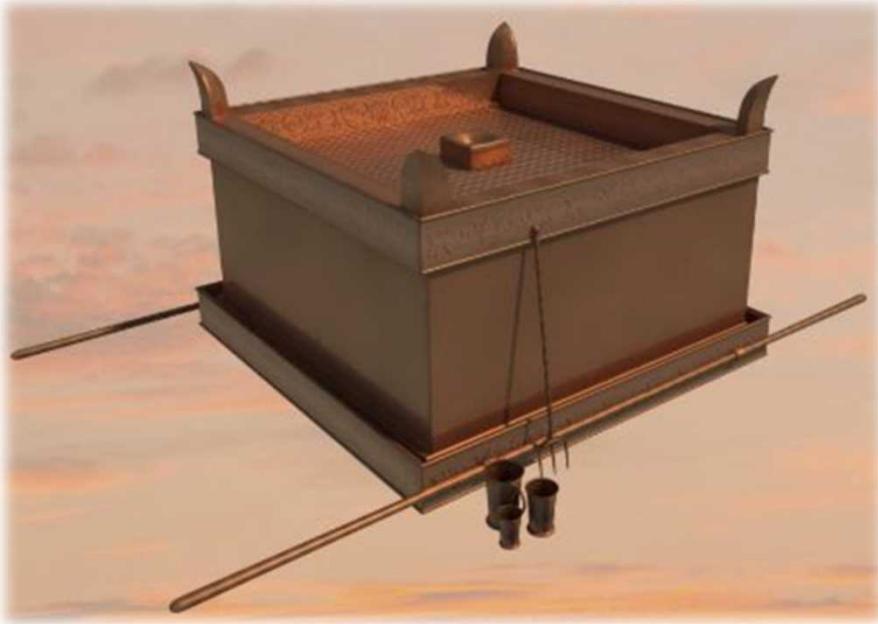
【香の壇】 出37:25～29



縦44cm × 横44cm × 高さ8cm 香は、祈りを現す。

黙 5:8 「彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっぱい入った金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。」

【祭壇】 出38:1～8



縦2,2m × 横2,2m × 高さ1,3m ここで犠牲の動物を焼いた
→究極の犠牲が、メシアである、イエス・キリストの十字架。
「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」ヨハネ 1:29

【幕屋の庭】 出38:9~20

【北】

【西】



【東】

【南】

縦(東西)44m × 横(南北)22m 約970m² 約300坪

【祭服】 出39:1~31 ← 「主が命じられた通りに」×7回

■大祭司

▼亜麻布の長服の上に以下を着用

- ①エポデ(聖なるエプロン?!)
- ②裁きの胸当て(12の宝石付)
- ③ウリムとトンミル
...肩につけた二つの石。神意を伺う。
- ④青服(袖なしのワンピース)
- ⑤額当て ...「主の聖なる者」と彫られた。

真の大祭司が、
メシアであるイエス

■一般の祭司

亜麻布の長服のみ。

すべてのクリスチャンは、
神と人を取りなす祭司



【悔い改めた民の献げ物】 出35章,36章

■ 金の子牛事件の後、

悔い改めた民は、喜び、心から献げ物をした。

【出エジプト記35:20、36:6】

「感動した者と、心から進んでする者とはみな、
会見の天幕の仕事のため、また、そのすべての
作業のため、また、聖なる装束のために、
【主】への奉納物を持って来た。

...それでモーセは命じて、宿営中にふれさせて
言った。「男も女も、もはや聖所の奉納物の
ための仕事をしないように。」

こうして、民は持つて来ることをやめた。

エジプトから得た贈り物が
幕屋建設の材料に!!



【会計報告】 出 38:21~31

幕屋、すなわち、あかしの幕屋の記録は、次のとおりである。これは、モーセの命令によって調べたもの、祭司アロンの子イタマルのもとでの、レビ人の奉仕である。

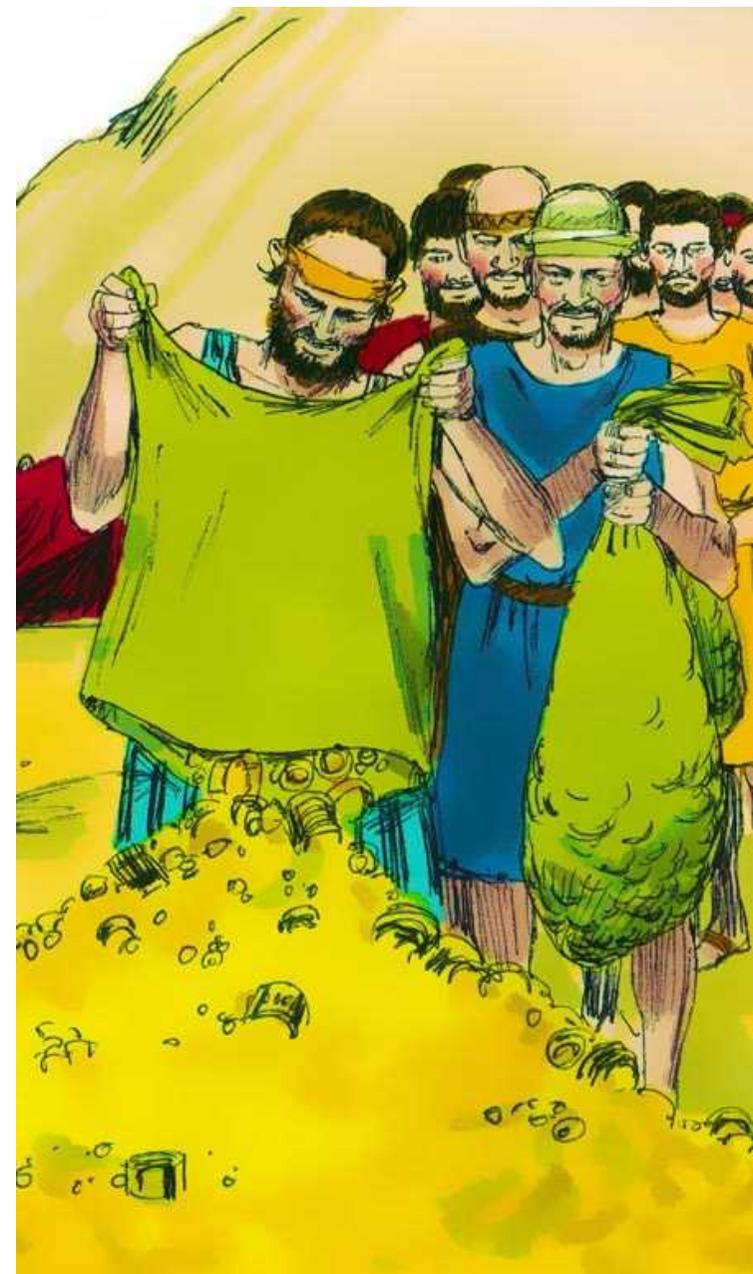
■使用された貴金属の総量

★金 ...100タラント(775シェケル) 約900kg

★銀 ...100タラント(1,775シェケル) 約3t

成人60万人の登録料

★銅 ...100タラント+1,775シェケル
+70タラント(2,400シェケル) 約2t



Ⅱ. 幕屋の完成

モーセが仰ぎ見た主の栄光

出エジプト記40章



【幕屋の組み立て】 出40:1~2

【主】はモーセに告げて仰せられた。

「第一の月の一日に、あなたは会見の天幕である幕屋を建てなければならない。」

■ 約半年で、幕屋の部材すべてが作成された。

■ 幕屋が組み立てられ、すべての祭具は、油を注がれて、**聖別**された。

(※**聖別** → 神の所有として他と区別されること)

★**聖別の順番は、内から外!!**

■ 福音を信じた、すべてのクリスチャンは、聖霊の油を注がれて、聖別されている!!

→ 内住される聖霊に、内からきよめられていく!!

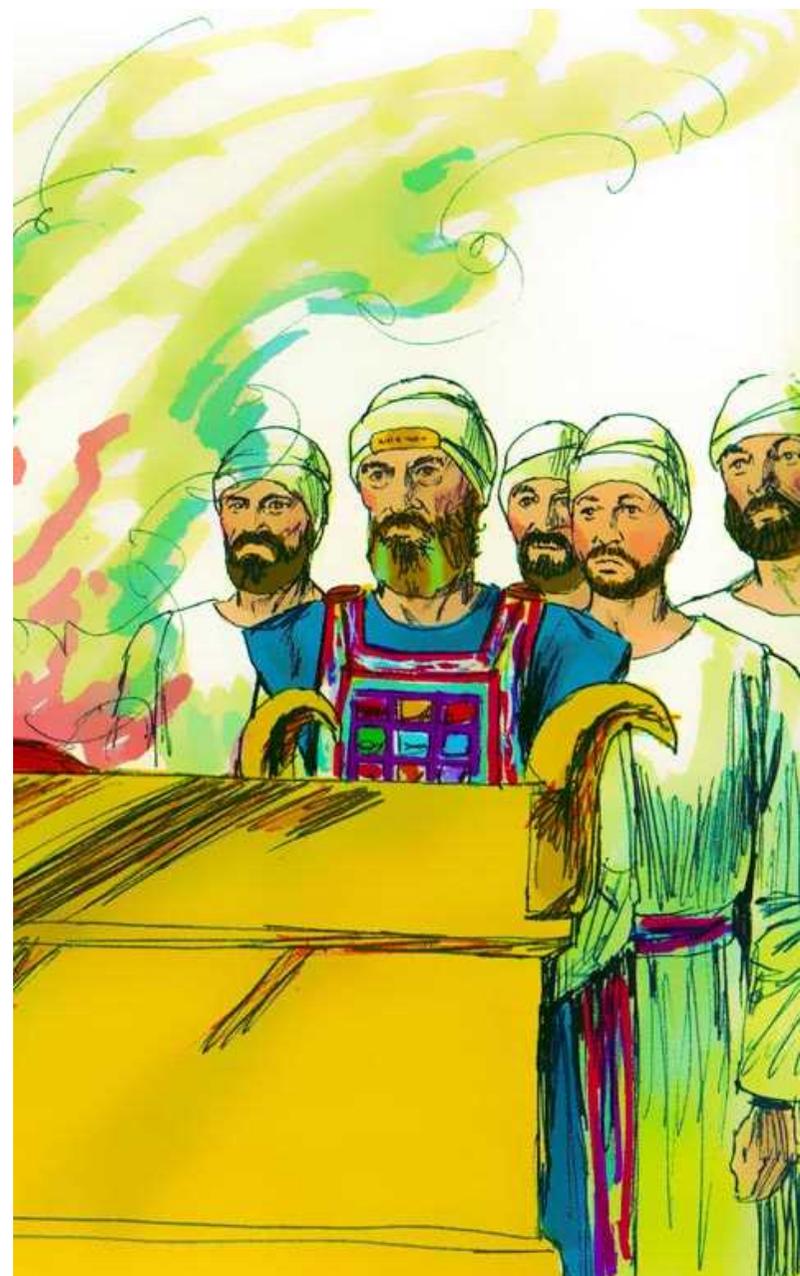


【祭司への油注ぎ】 出40:12～16

40:15 あなたは、彼らの父に油をそそいだように、彼らにも油をそそぐ。彼らは祭司としてわたしに仕える。彼らが油をそそがれることは、彼らの代々にわたる永遠の祭司職のためである。」

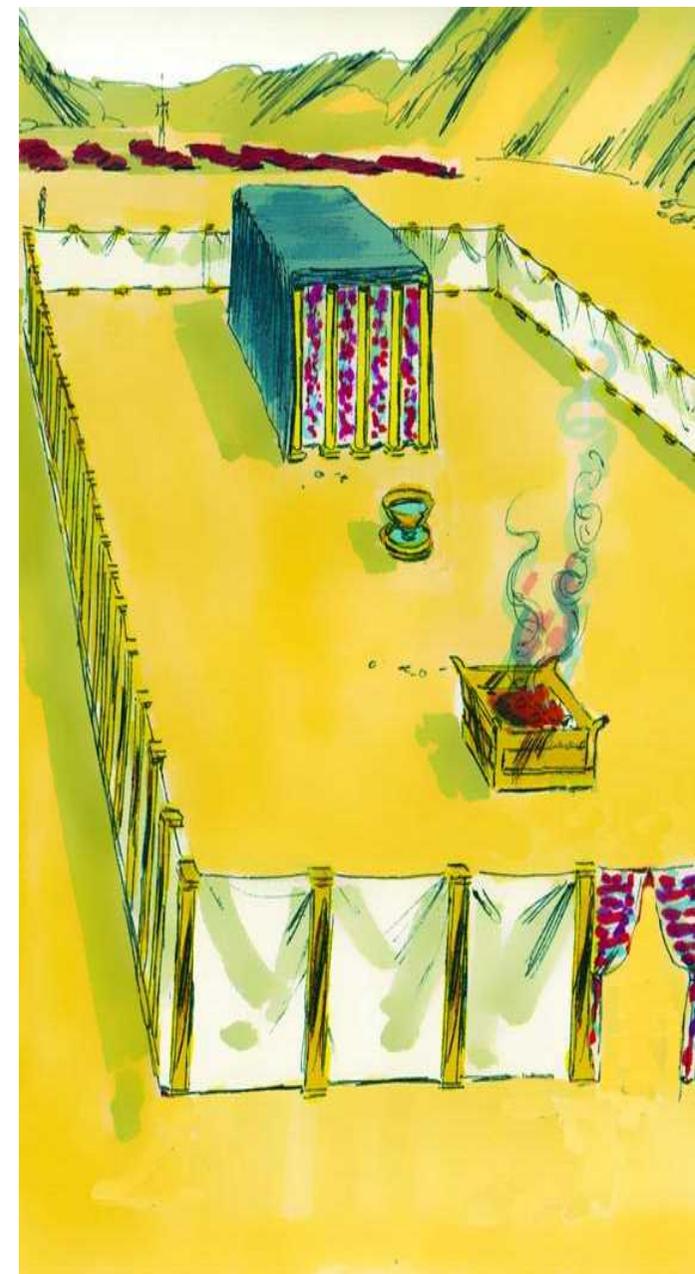
40:16 モーセはそのようにした。すべて【主】が彼に命じられたとおりに行った。

- 大祭司は、代変わりごとに油注ぎを受けた。
- * **永遠の祭司職** ... 真実の大祭司は、**メシア**。
- **メシア**(=「油注がれた者」)こそ、**真の大祭司**。
- 十字架の贖いが成し遂げられた時、律法は完遂され、人間の祭司の役目は終わった。



【モーセとイスラエルの従順】 出 40:17~29
第二年目の第一月、その月の第一日に幕屋は
建てられた。

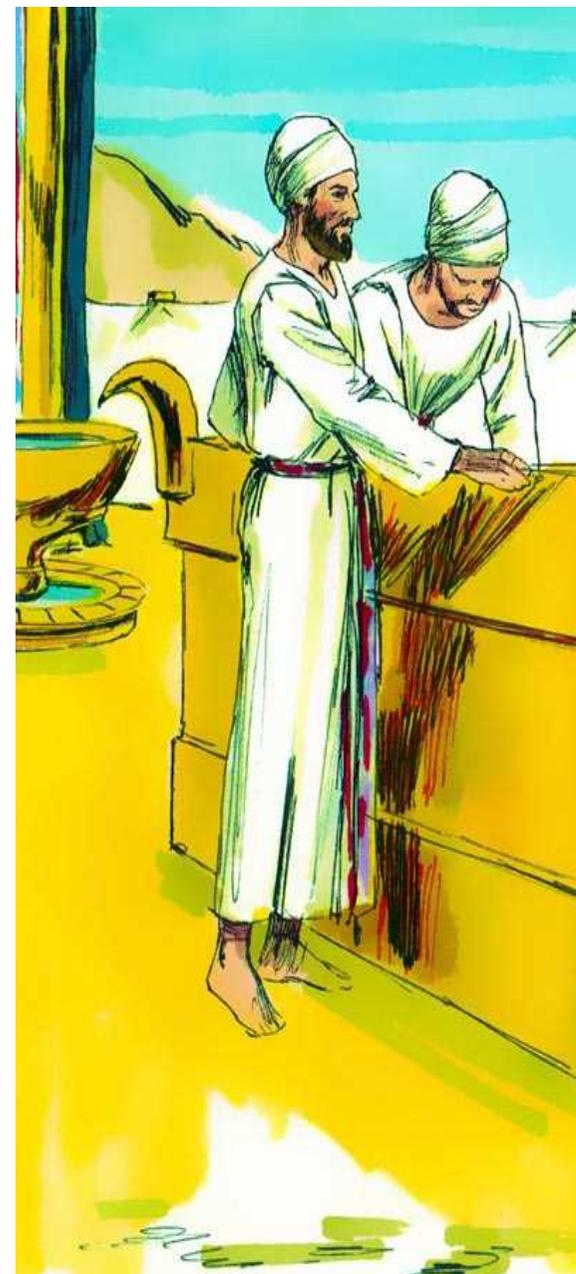
- エジプトを出てから1年後に完成。
約半年をかけて幕屋は建設された。
- イスラエルの従順が、7度、繰り返される。
「【主】がモーセに命じられたとおりである。」
- 完全数の7が示すとおり、
幕屋は神の計画通り、完全な形で建設された。



【モーセと祭司のきよめ】 出 40:30～33

また彼は、会見の天幕と祭壇との間に洗盤を置き、洗いのために、それに水を入れた。モーセとアロンとその子らは、それで手と足を洗った。会見の天幕に入るとき、または、祭壇に近づくとき、彼らはいつも洗った。【主】がモーセに命じられたとおりである。また、幕屋と祭壇の回りに庭を設け、庭の門に垂れ幕を掛けた。こうして、モーセはその仕事を終えた。

- 仕事を終えた。完全に成し遂げられたということ。
- モーセは、幕屋建設に際して、
最初から最後まで神に忠実に従った!!



【幕屋の完成】 出 40:34～38

そのとき、雲は会見の天幕をおおい、【主】の栄光が幕屋に満ちた。モーセは会見の天幕に入ることができなかった。雲がその上にとどまり、【主】の栄光が幕屋に満ちていたからである。

イスラエル人は、旅路にある間、いつも雲が幕屋から上ったときに旅立った。雲が上らないと、上る日まで、旅立たなかった。イスラエル全家の者は旅路にある間、昼は【主】の雲が幕屋の上に、夜は雲の中に火があるのを、いつも見ていたからである。

■幕屋で最も重要なのは、神の栄光が宿ること!!

➡アダムの子以来、地上を離れた神の栄光が、部分的とはいえ、地上に再び宿った瞬間だった!!













Ⅲ. まとめと適用

人に宿られた神の栄光
神の宮とされた私たち



【幕屋に宿った、神の栄光】 ローマ3:23

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

→ 人が、罪人であるとは、神の栄光を受けられないということ。

- 神は、アブラハムを選び、契約に従ってイスラエルを救い出され、律法に従い立てられた幕屋に、栄光の姿で宿られた。
- 神の栄光が地上に宿られたのは、部分的とは言え、アダム以来。
- しかし、約束の地に王国を築いた後、イスラエルの度重なる背信により、神殿から栄光は去った。

【生きて来られた、神の栄光】 I コリント 2:7

「私たちは、奥義のうちにある、隠された神の知恵を語るのもであって、その知恵は、神が私たちの栄光のために、世界の始まる前から定めておられたものです。」

■ 神は、天地創造の前から、栄光の救いの業を計画されていた。

■ メシアなる主イエスは、栄光を身に宿して誕生された。

■ 主は、イスラエルに拒まれながらも、神の怒りの杯を飲み干された。
その十字架の犠牲により、イスラエルと人類の罪は贖われた。

■ 死を打ち破った主イエスは、栄光の姿で復活された。

【すべての信者の内に宿る、神の栄光】 ピリピ3:21、I ペテ 4:14

「キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。ピリピ3:21」

「もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。I ペテ 4:14」

■福音を信じた者の内に、聖霊が住まわれている。

聖霊が、試練の中で私たちを守り、聖霊が私たちを変えていってくださる。

■今、神の栄光は、信じた私たちの内に宿られている!!

私たち自身が、神の栄光が住まわれる神の宮とされている!!

【すべての信者が招かれている、永遠の神の栄光】 黙 21:23

「都は、これを照らす太陽も月も必要としない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。」

■ 世界が完全に回復される新天新地。

神の真の都、天のエルサレムが地上に下り、天と地は一体となる。

■ その都では、神の栄光が、主イエスの栄光がすべてを照らし出す。

福音を信じたすべての人は、神の栄光に満たされ、神の栄光の内に、永遠を生きる。もはや悲しみも嘆きも労苦もない。

【ペンテコステに覚えるべきこと】

- 主イエスの十字架の贖いによって、律法は成し遂げられた。
栄光の姿で復活された主イエスこそ、真実の永遠の大祭司。
- ペンテコステに降った聖霊は、信じる者すべての内に住まわれている。
栄光の御霊が、わたしをあなたを変え、神の似姿へと育んでくださる。
- イスラエルの民族的悔い改めの後、主イエスは、栄光の姿で再臨され、
王の王として、永遠に、ご自身の王国を治められる。
- 完成した新天新地、真の都エルサレムで、福音を信じたすべての人は、
神の栄光に満たされ、神の栄光の内に、永遠に生きる。
- 主のご計画の理解と信頼を深め、聖霊に依り頼んで、変えられていこう。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

栄光(えいこう)の御霊(みたま)が、私たちの内に住まわれています。

試練(しれん)の時も、私たちを守(まも)り、成長(せいちょう)させて
ください。 栄光(えいこう)の主が来られるときまで、どうかこの身を

主の使命(しめい)のため、豊(ゆた)かに用いてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」